

# 流通とSC・私の視点

2010年12月9日

視点(1354)

コア・テクノロジーと流通の未来!!

時代時代の中で経済あるいは産業の基軸となる技術を「コア・テクノロジー」と言いますが、このコア・テクノロジーと流通が融合した未来の姿を模索してみました（六車流：流通理論）。

進化のレベル	コア・テクノロジー	内 容		消費のレベル
0.5	農業技術	エ ネ ル ギ ー	自然動力（動物、人間、水、風）	プレ・ モダン消費
		成 果	農作物	
		代 表 商 品	主食としての穀物（米、麦等）	
		コモディティ化	食のコモディティ化	
		流 通 業 態	市場	
1.0	製造技術 (20世紀前半)	エ ネ ル ギ ー	機械動力	モダン消費
		成 果	生産財・消費財	
		代 表 商 品	自動車とテレビ	
		コモディティ化	商品のコモディティ化	
		流 通 業 態	商店街とGMS	
2.0	情報技術 (20世紀後半)	エ ネ ル ギ ー	コンピューター(情報処理ツール)	モダン消費
		成 果	コンテンツ	
		代 表 商 品	パソコンと携帯電話	
		コモディティ化	情報のコモディティ化	
		流 通 業 態	SC	
3.0	ニューウェーブ技術 (21世紀前半)	エ ネ ル ギ ー	ソーシャルメディア (コンシューマー・ ジェネレーション・メディア=CGM)	ポスト・ モダン消費  (21世紀後半は ニューモダン 消費に変化)
		成 果	ユビキタス	
		代 表 商 品	環境・バイオテクノロジーとインターネット	
		コモディティ化	ノウハウのコモディティ化	
		流 通 業 態	ネット販売、タウンセンター	

流通は経済の1つです。そして、経済は産業から成り立っています。産業は技術（テクノロジー）によって生成されます。また、経済や産業や技術は、常にコモディティ化（普及による大衆化及び低価格化＝独自性がなく他の商品で容易に代替できる商品）を招きながら高次元技術は次の世代へバトンタッチします。20世紀の最強の流通業態であるSCは、大量生産・大量販売・大量消費のモダン消費と車社会が融合してできたものです。

(株)ダイナミックマーケティング社<sup>+</sup>  
代 表 六 車 秀 之